

ちょっと待って！

その情報、本当に正しいですか？

昨今のインターネット上には膨大な情報が飛び交っていますが、誰でも情報発信できるという関係上、その中には事実と異なっていたり、わざと悪意を込めて人々の印象を操作するために発信されたものが混在しています。

これらは「フェイクニュース」と呼ばれることもあり、時には大きく拡散されて現実へ悪影響を及ぼすため、社会的に問題視されています。

今回はそんな「疑うべき情報」についてまとめました。

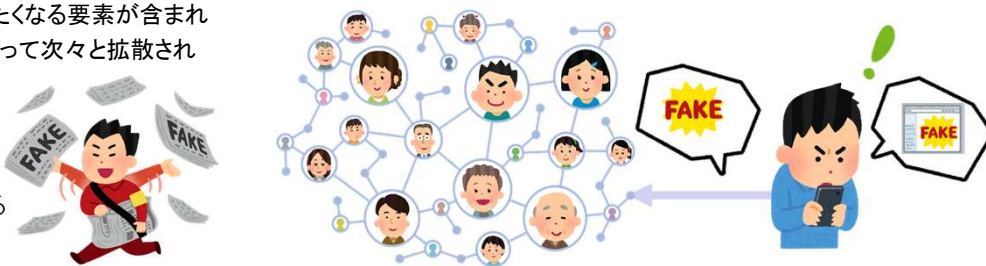
ネット上にはびこるウソや間違った情報

一口に「疑うべき情報」と言っても、いくつか種類があります。今回は大きく三種類に分けてご紹介します。

誤情報 (「ウソだが害意はない」情報)	いわゆる勘違いや誤認によって発信された情報。発信者はその情報を事実だと思っていて、「為になる・面白い」などの理由で、良かれと思って広めてしまうことが多い
偽情報 (「ウソであり害意もある」情報)	発信者が意図的に偽情報を作成・発信している場合。広告収入を得るために注目されやすいニュースをでっち上げたり、政治的な印象操作を企んでいるなど、何らかの目的がある
悪意のある情報 (「ウソではないが害意がある」情報)	情報自体はウソでは無いものの、わざと誤解を招くような表現や切り抜きをしたり、他者に害のある情報(プライバシー情報など)を暴露するような形で発信している場合。自身に対立する立場の相手を貶めるためのものが多い

こういった情報には誰かに共有したくなる要素が含まれていることが多く、見た人の手によって次々と拡散されていきます。

中には話を広めるために、わざと人々の怒りや不安を煽るような見出しや内容で注意を引こうとする過激なものもあります。



ネット上のウソ情報が現実社会にまで影響する？

広まったこれらの情報はインターネット上に留まらず、現実の社会にまで混乱を及ぼす事例もあります。

2024年1月の能登地震の際、SNS上で嘘の救助要請や無関係の(過去の災害の)画像を使った投稿が数多くありました。そのうちの多くは海外のアカウントが注目度の高い話題に関する内容をそれらしく捏造したもので、反応数に応じた広告収入を稼ぐことを目的としていました。

こういった災害の被害状況に関わる偽情報は、避難や救助作業に支障をきたしたり、本物の救助要請が見つかりにくくなったり、人命に関わる恐れがあるため大変危険です。

また、近年、AIを使って既存の映像や音声を合成・改変する技術「ディープフェイク」が登場しました。これによって有名人や政治家などに成りすました偽の動画や音声を作成して詐欺などに用いられたケースもあります。こういった「一見真実のように見えるウソの情報」を誰でも簡単に作れるようになったため、一層の注意が必要です。



ウソの情報を見分けるためには

誤情報や偽情報に騙されないためにも、目新しい情報に触れたときには、その情報が信頼できるものであるかを確認しましょう。特に判断の助けになるチェックポイントをご紹介します。

・「発信時期」「発信元」「一次情報源」を確かめる

その情報はいつのものか、投稿したのは誰か、またその情報を一番初めに発信したのは信頼のおける人や機関であるかを確認しましょう。

・複数の情報を比べる

同じ事柄について複数の視点や情報源を比較することで認識の偏りや間違いに気付きやすくなります。

・表や画像は注意深く確認する

表に使われた値の基準がおかしかったり画像に不自然な点があったりしないか、注意深く確認しましょう。誤解させる意図を含んでいた、AIによって生成されたものである可能性があります。



センセーショナルな情報を目にすると、つい身近な人に教えたくなってしまうものです。そういった情報が目に入った時は、感情のまま反応する前に一度立ち止まって疑問を持ちましょう。

「真偽が曖昧だと感じたなら過度に反応しない、広げない」という姿勢が、不確かな情報の拡散を防ぐ最も有効な手段です。

最後に、参考になりそうなページをいくつかご紹介します。

・政府広報

<https://www.gov-online.go.jp/article/202403/entry-5920.html>

・日本経済新聞

<https://www.nikkei.com/telling/DGXZTS00004460Y3A510G2000000/>

開発室から



白山市の「トレインパーク白山」にドクターイエローがやってきましたが、一世代前の0系新幹線がベースのドクターイエローでした。そこで現役で実際に走行中のドクターイエローを見るために米原市に行きました。運行ダイヤが非公開のため「見ると幸せになれる」と言われていますが、最近はネットで検索すると運転日や各駅時刻予想があります。それでも「見ると幸せになれる」のかなあ。

クラウド販売管理システム



無料トライアル
受付中！

moucla 公式ページ



無料トライアル、
moucla の詳しい説明は
こちらから！



発売から 30 年以上バージョンアップを重ねた販売管理ソフト「もうかりまうす！」
基本機能や使いやすさはそのままに、クラウドバージョンの登場です！
日々の販売業務の効率化に役立ちます。面倒な設定なしで手軽にスタートできます。

moucla の特徴

01. 販売、仕入、在庫の一元管理
02. シンプルで使いやすい
03. インターネット環境があれば、いつでもどこでも使える
04. データは自動バックアップなので安心
05. 御社の業務に合わせてカスタマイズ可能！
06. 充実のサポート体制

PC だけでなく、タブレットでもお使いいただけます！

主な機能一覧

- ・ 見積書の作成
- ・ 受注管理、注文請書の作成
- ・ 売上計上、納品書の作成
- ・ 請求書の作成
- ・ 入金、売掛管理
- ・ 発注管理、注文書の作成
- ・ 仕入、支払、買掛管理
- ・ 在庫管理
- ・ 売上や粗利集計、実績管理

※見積書や請求書などの帳票類はメール送信が可能です。
※軽減税率や適格請求書（インボイス）に対応しています。

料金

初期費用	50,000 円（税別）
月額費用	月額 3,000 円（税別）～

販売管理機能を 1 ユーザーでご利用の場合は、月額 3,000 円（税別）です。
販売管理＋仕入在庫管理機能を 1 ユーザーでご利用の場合は、月額 5,000 円（税別）です。
※月額費用は、ご利用の機能とユーザー数により変動します。
※カスタマイズした場合は料金が異なります。

統合型販売管理ソフト もうかりまうす！Pro.

オンプレミス版販売管理ソフト
もうかりまうす！シリーズの最上位クラス



売上 / 顧客 / 請求 / 回収 / 見積 / 受注 / 仕入 / 発注 /
支払 / 在庫 / 加工機能を統合化した、
販売（売上）・仕入・在庫管理ソフトです。
お使いの PC にインストールしてご利用いただけます。



業務の効率化を図るだけでなく、
戦略的に次の一手を導き出すお手伝いをします。
拡張性ある販売管理に営業支援の機能が加わった、
統合型販売管理ソフト『もうかりまうす！Pro.』
これ 1 本であなたの会社が変わります！

クラウド販売管理システムをお探しならこちら！



料金

もうかりまうす！Pro.	86,000 円（税別）
もうかりまうす！Std.	56,000 円（税別）